

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	環境測定				所管	環境清掃部 環境課		
	行政計画	事業NO.	119	計画事業名	環境測定			
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] II-2. うるおいのある生活環境づくり [小 柱] (3)地域で進める環境行動の支援 [施 策] ①自然共生の推進				事業の開始・終了年度		
	根拠法令等	その他	[法令等名]	環境基本法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法、放射性物質汚染対処特別措置法				
	事業対象	一般区民						
	事業目的	区内の環境(大気汚染、騒音、振動等)を継続的な測定・調査によりの確に把握し、環境保全の施策の基礎資料とする。また、得られたデータを基に区民に対して環境保全に対する意識の普及・啓発を図る。						
事業内容	①大気汚染常時測定 (SPM(浮遊粒子状物質)、OX(光化学オキシダント)、NOX(窒素酸化物)、温度) ②主要交差点窒素酸化物調査(入谷、駒形橋西詰交差点) ③区民環境調査(水質調査等を実施) ④主要幹線道路沿道の騒音・振動調査及び自動車騒音常時監視(年1回3地点)							
委託の有無	一部委託	委託内容		測定機器のメンテナンス、一部測定業務				
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	環境測定実施件数	件	2,250	2,250	2,250	2,256	
		区民環境調査実施回数	回	4	4	4	4	
	成果指標	大気環境基準の達成状況	-	改善	OX以外は達成	OX以外は達成	OX以外は達成	
		区民環境調査参加人数	人	維持	243	239	254	
	決算額 (単位:千円)				8,012	6,899	6,985	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			8,223	5,101	4,812	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			4,893	5,538	5,340	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			10	1,362	1,646	
		総経費			13,126	12,001	11,798	
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			585	0	0		
	一般財源(区負担額)			12,541	12,001	11,798		
前回評価から改善した事項	主要交差点窒素酸化物調査委託において、仕様書の風向風速の測定を廃止し、委託金額を減額した。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	PM2.5に対する関心が高まっている。測定の必要性の有無を見極めながら、区内の大気汚染状況を長期的に把握するためにも継続して測定を行っていく必要がある。					
	効率性	3	仕様書の見直ししたことによりコスト削減を図った。国、都の状況を見ながら今後も検討を行っていく。					
	手段の適切性	3	測定機器は高額なものが多いため、委託した方が安価なもの、高度な技術が必要なものについて委託により実施している。					
目的達成度	3	光化学オキシダントについては環境基準未達成。対策には広域的な対策が必要であることから国、都の状況を見ながら今後も検討を行っていく。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
大気汚染防止法の規定により、大気汚染常時測定は都の事務であり、大関横丁(自動車排出ガス測定局)で測定を行っている。しかし、一般の測定局がないため分庁舎にて測定を実施している。PM2.5などの関心が高いものについては、今後のあり方を検討していく。					維持			